

はじめに

難民に対する日本語教育を行ってきた RHQ 支援センター（以下「センター」）では、2010 年度より、タイ国境の難民キャンプから来日した第三国定住難民を受け入れています。この度コースを受け持つ講師たちが、日々の授業のために作成してきた教材を土台に、地域でも使えるより幅広い内容を加味したふたつの教材を作成しました。生活のための日本語学習教材—ユニット学習編『はじめまして にほん』、同じく絵辞典編『にほんご えじてん』がそれです。センター修了後に地域で学習を継続する難民とその支援者の皆さん、さらには地域に生活する他の多くの外国人の皆さんに、センターの学習内容をぜひ役立てていただきたいとの思いから生まれた教材です。

『にほんご えじてん』は、文字に親しみのない人の多い第三国定住難民クラスで、絵を通して日本語を楽しく学べるようにと開発された教材です。語彙は、日常生活に必要な名詞を中心に約 2200 語が収録されています。

『にほんご えじてん』は、辞書としてだけでなく、さまざまな使い方ができます。

語彙は「家」「学校」「災害」などトピック毎にまとまっていますので、話したいトピックのページを広げ、絵を見ておしゃべりをしながら、話題を広げていってください。最初は単語レベルのやりとりで充分です。語彙が増えていく過程で、コミュニケーション力も少しずつ伸びていくことでしょう。日本語の文字がはじめての人は、絵といっしょに文字を覚えていくこともできます。

また文字が読めるようになったら、ふつうの辞書のように、絵や巻末の索引を使って、知りたい日本語をたくさん覚えましょう。索引は、かな、漢字かな混じり、カレン語、英語の 4 種類になっていますので、これを利用して、漢字ではどのように書くかを学習することもできます。

さらにセンターでは、文字を抜いたワークシートを作成したり、絵をカード化したり、コピーを切り抜いてノートに貼って覚えたり、とさまざまな使い方をしています。みなさんもそれぞれの学習に適した使い方をぜひ工夫してみてください。

『にほんご えじてん』は、用途に応じ、部分的にダウンロードして使用することができますが、「じてん」として活用するためには、まとめて綴じていただくことをお勧めします。空白を多くとってありますので、そこにそれぞれが必要な語彙を追加していけば、世界にひとつだけの“マイ デクショナリー”ができあがるでしょう。いつも手元におき、ことあるごとに調べたり、コミュニケーションのたねにしたりして、楽しんでください。

なお、この教材は『はじめまして にほん』の内容と重なるように作られていますので、併用することで、さらに日本語の応用力が増すことと思います。ふたつの教材を手がかりに、自信をもって日本での生活を送っていただくことができれば、大変に嬉しく思います。

『にほんご絵じてん』の表記上の特徴について以下に記しました。

ご使用の前にお読みください。

1. 学習者にわかりやすいように、本文中の語彙表記はひらがな・かたかなになっています。索引はかな/漢字かな混じりの併記です。
2. 動詞は「ます形」「辞書形」の順に、絵の下に両方を同時に紹介しています。
3. ひとつの絵に対してふたつの言い方があるときは併記してあります。その場合、最初に記されている方が、よりやさしい（日常的な）言い方です。例：おまわりさん/けいかん
4. 絵に表しにくい抽象的な語彙の場合、本文中にも日本語のとなりにカレン語が記されています。